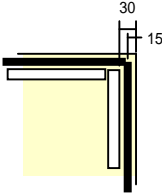


Dボード工事の具体的な作業内容

〔作業手順と作業内容〕

項目	作業の内容	注意事項 他
1 材料の搬入と間配り	(イ) 運送トラックにて現場に搬入。 (ロ) 所定の位置に平積み。 (ハ) パネル番号と施工図を照らし合わせて間配りする。	全パネルが定尺サイズではないので、 手運びが基本 となる。 大きいサイズは必ず2人以上で運ぶ事。 取り扱いには 端部の破損 に注意。 反りの原因となる為たてかけて置かない事。
2 Dボード施工 (1) 前工程の状態チェック	(イ) 下地の精度の確認。 (ロ) 巾木、見切り等が図面通り取り付けられているか確認。 (ハ) 各部位毎に 基準レベル墨 が出ているかチェックする。	1mm以上の突起物があれば元請けに申し出、直してもらう。 不具合な個所は修正してもらう。 下地ボードのジョイント部目違いは1%以内。
(2) 割付・墨出し	(イ) 承認された施工図に基づき、D-ボードの貼り出し位置を決定し、墨出しする。	
(3) 加工・カット	(イ) 必要に応じて加工・カットする。 (ロ) チップソー（電動丸ノコ）を使用。	加工・カットは支障のない部位に限る。
(4) 接着剤の塗布	(イ) まず、仮留めテープを貼付ける。  (ロ) 仮留めテープは端部から30mmの位置に貼り、端部と仮留めテープの中間に接着剤を塗布。	変性シリコン系接着剤を使用。 接着剤は外周の縁から10～15mm程度内側に塗布する。
(5) 目地テープ貼付け	(イ) 約20mm幅にてテープをまっすぐ貼付ける。	石膏ボードのジョイント部にはパテ処理を施す。
(6) Dボード貼付・圧着	(イ) 図面のパネル番号と同じ番号のパネルを貼付け位置に合わせ、圧着する。 (ロ) 接着剤塗布後、15分以内に貼付けを完了。 (ハ) タテ目地は6mmのスペーサーを挟んで一定の目地幅にする。	全体を抑えると「ナキワカレ」し、接着しない為注意。 目地幅に注意する。
3 仕上がり自主検査	(イ) 施工が完了した部位から逐次、全体の仕上がり目地部分、浮きなどについて自主検査を行う。 (ロ) 養生が必要な場所は元請けに依頼し、確実に行ってもらう。	不具合な個所は先送りはせずに、補修など速やかに対応する。 汚れ部分はきれいに除去する。